

車載用座位保持装置

キャロット3 XLシート

取扱説明書



ご使用になる前に、本書を必ずお読みください。



保管用

使用されない時は、
背面ポケットに入れ
保管してください



SEEDS

目次

安全にご使用いただくための情報	-----	2
重要事項	-----	4
認証	-----	5
各部の名称	-----	6
車両シートへの取付け	-----	7
標準的な取付け方法	-----	7
各部の機能と使い方	-----	8
頭部	-----	8
ヘッドサポートの前後調整	-----	8
ヘッドサポートの幅調整	-----	8
ヘッドパッドの取付け位置の調整	-----	8
肩部	-----	9
ショルダーウイングの幅調整	-----	9
肩パッドの高さ調整	-----	9
背部	-----	10
背もたれの高さ調整	-----	10
4点式ハーネスのバックルの着脱	-----	10
座部	-----	11
座面の奥行き調整	-----	11
4点式ハーネスの着脱	-----	12
オプション	-----	13
XL 用サポートテーブル	-----	13
三角マット	-----	13
背延長パッド 100mm	-----	13
3D 体幹パッド	-----	13
座らせ方と注意点	-----	14
座らせ方	-----	14
車両シートベルト併用の義務	-----	15
リクライニング時の注意	-----	16
お手入れの方法	-----	17
カバーの取り外しは販売店に依頼してください	-----	17
カバーが汚れた場合	-----	17
4点式ハーネス用バックルのロック音について	-----	17
寸法	-----	18
保証規定	-----	19
製品保証書	-----	20



警告 安全にご使用いただくための情報

守らない場合、重大な事故や死亡事故につながる可能性があります

- ・ キャロット3 XL は、自力で座位を保持することの難しい、重度の障害を持つ人たちのために開発された「車載用座位保持装置」です。
- ・ 本製品の想定する使用者の体重は、36～75kg未満です。
- ・ 製品と使用される方への適用については、購入前に必ずかかりつけの医師にご相談ください。また使用される前に製品の背面ポケットに収納された「取扱説明書」を熟読していただくようお願いいたします。
- ・ 本製品はヨーロッパ安全基準 ECE R44/04 に準じた、75kgダミーによるクラッシュテストに合格しています。
- ・ 本製品の車両シートへの固定方向は、前向き姿勢のみです。
- ・ ぴったりとフィットさせるために、本製品のベルトを調整してご利用下さい。緩みや振れがでないように注意し、また、きつく締め過ぎて利用者の身体を不自然に押しつけないようにしてください。
- ・ 本製品の車両シートへの固定は、本取扱説明書の記載のとおり正しくしっかりと取り付けてください。
- ・ 本製品の使用の際には、車両側3点式シートベルトとの併用が必要です。最初に利用者の姿勢を整えたうえで、本製品の4点式ハーネスと併せて、必ず二重に着用してください。
- ・ 車両側3点式シートベルトは、ECE 規則 No.16 の規定または他の同等の規格で認められたものが対象となり、認定品装着車以外では使用できません。
- ・ 本製品の使用にあたっては、製品本体および取扱説明書に記載されている方法でお使いください。記載されている方法以外では使用できません。
- ・ 万が一、事故等に遭われた場合、安全上の性能が損なわれている恐れがあります。事故の度合いが軽度、重度にかかわらず再使用しないでください。
- ・ カバーを取り外した状態で使用しないでください。
- ・ カバーを本製品以外のものと交換しないでください。
- ・ 本取扱説明書は、必ず製品の背もたれポケットに入れて保管し、いつでも見ることができるよう常備してください。
- ・ 本製品はドイツのメディカルプロダクトとしての承認を受けています。
- ・ 本製品は ISO9001 による品質管理のもと、日本で生産されています。



警告 安全にご使用いただくための情報

守らない場合、重大な事故や死亡事故につながる可能性があります

- ・ 本製品の使用については、特別な認可を受けた場合を除き、車両以外の場所(例えば、自宅、ボートなど)や本来の目的以外での使用を禁じます。
- ・ 取り付けの車両シートの位置の選定については、後部座席が最も安全です。詳細については、本取扱説明書と車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。
- ・ 本製品に使用者が座っていない状態でも、万が一の事故等の際、本製品の飛散などによる被害の拡大を防ぐ為、製品本体は常にしっかりと固定しておいてください。
- ・ エアバッグ付きの車両シートで使用する場合は、事前に車両のオーナーズマニュアルの、チャイルドシート使用の際の注意点等を参考にしてご使用ください。
- ・ 本製品を使用する際の背もたれの角度は、過度にリクライニングした状態ではなく、なるべく通常の「背を起こした状態」でお使いください。
- ・ 本製品を移動する場合は、絶対に4点式ハーネスを持って持ち上げたり運んだりせず、本体ごと抱えるか、もしくは固定ベルトを持つようにしてください。4点式ベルトに無理な力が加わると、バックル等の損傷につながる恐れがあります。
- ・ 万が一の事故の際、乗客の身体を守る基本的な役割は、車両本体と車両シートベルトが担っていますが、本製品を適正に使用することにより、利用者の生存率をかなり向上させることができます。したがって本製品を利用される方は、その取り扱い方法をしっかりと理解し、適正に活用いただくことが重要になります。

安全情報

正しく安全にご使用いただくために

重要事項

- ・ 使用する時は、毎回本製品がしっかりと車両シートに固定されていることと、4点式ハーネスが使用者をしっかりと保持していることを確認してください。
- ・ 使用者を座らせる時の服装については、ごわついたり、だぶついたりするようなコートやジャケット類は脱がせ、4点式ハーネスが利用者の身体にフィットするようにしてください。
- ・ 駐車の際などに直射日光が当たり、製品の一部が高温になり火傷の原因になる恐れがあるので、駐車中は製品にカバーをかけてください。
- ・ 使用しない時は安全な場所に保管し、上に重いものなどを載せないでください。
- ・ たとえ短時間でも、車内に利用者を一人きりにしないでください。
- ・ 本製品を取扱説明書に記載されていない方法で使用したり、部品類を外したり、ハーネスや車両シートベルトなどの異なった使い方をしないでください。
- ・ 本取扱説明書に記載されていない方法で、座面の高さ位置を上げたり、座の奥行や長さを変えたりしないでください。
- ・ 後部座席に本やバッグなどをそのまま放置しないでください。急ブレーキの際、飛散などによる深刻な事故につながる可能性があります。
- ・ 車両シートが折りたたみ式タイプの場合は、確実にロックが効いているか確認してください。効いていない状態では、本製品の確実な固定が出来ないため大変危険です。
- ・ 他のお子さま等を、本製品で遊ばせないでください。

安全情報

正しく安全にご使用いただくために

認証について

本製品は通常のチャイルドシートの規格よりも、より大きな方(36kg～75kg未満)を対象にした製品です。

チャイルドシートの規格を超えた製品なので、認証というシステムはありませんが、本製品はヨーロッパ安全基準 ECE R44/04(クラスⅡ & Ⅲ)に準じた、75kgダミーによるクラッシュテストに合格しています。



警告！ 本製品は、進行方向前向き取付け専用です。

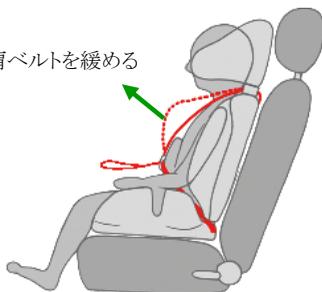


警告！ リクライニング時の注意

背もたれを倒すときは下記の手順により、いったん肩ベルトを緩めた後で背を倒し、再び肩ベルトを締めなおしてください。

そのまま倒すと肩ベルトが締め過ぎになり危険です。

1 肩ベルトを緩める



2 背もたれを倒す

3 肩ベルトを締める



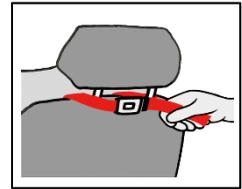
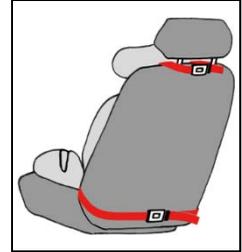
各部の名称



車両シートへの取付け

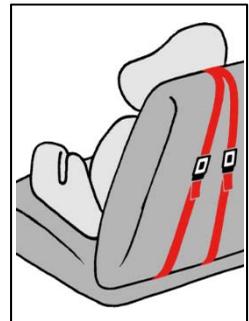
標準的な取付け方法

- 1 本体に付属する 2 本の固定ベルトを使い、車両シートの上下 2 か所にしっかりと固定します。
- 2 上部の固定は、車両シートのヘッドレスト金具に巻きつけて固定し、下部は車両シートの背もたれ下部に巻きつけて固定します。
- 3 バックルをはめた後、ベルトの長さを調整し、しっかりと固定します。



重要

- 1 ベンチシートへの取付けの際、固定ベルトの長さが足りない場合は、ベルトを横に回さず、縦方向に回して固定することができます。
- 2 固定方法で迷われたときは、お買い上げの販売店または当社へご連絡ください。



各部の機能と使い方

頭部

重要

このヘッドサポートは後頭部の形状に合わせた立体的な形状なので、頭部の安定性を得るには細かな調整が必要です。(右図参照)



ヘッドサポートの前後調整

- 1 ヘッドサポートを本体から外します。
- 2 樹脂製肩ベルトガイドの底にある、ヘッドサポート前後調整穴(A)から、ヘッドサポートを固定しているボルトをドライバーで緩めて外します。
- 3 ボルトをヘッドサポート前後 3 か所のいずれかの穴位置(B)に留め直してご使用ください。



調整範囲：前 15mm←出荷時位置→後 15mm

ヘッドサポートの幅調整

先端部に力を加えることで、ヘッドサポートをお子様に適した幅に調整することができます。

ただし、調整は必ず販売店にご依頼ください。



ヘッドパッドの取り付け位置の調整

ヘッドパッドの取り付け位置を変えたり、外したりして頭部の収まりを調整します。



各部の機能と使い方

肩部

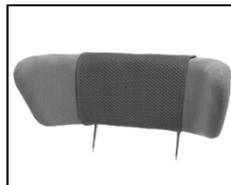
ショルダーウイングの幅調整

- ・ ショルダーウイングの幅を、左右別々に広げることができます。

調節範囲： 左右各 10mmピッチで 5 段階

左右合わせて最大 100mm

- ・ ショルダーウイング背面の黄色の押しボタンを押しながら、ショルダーパッドを引き出します。
- ・ お子様の肩の幅や位置にあわせて、最も身体が安定する位置に調整してください。



重要

調整が必要な場合は、かならず販売店にご依頼ください。

肩パッドの高さ調整

肩パッドの高さ調整のためのベルトが、ヘッドサポート背面にマジックテープで取り付けられているので、最適な高さになるよう調整してください。



重要

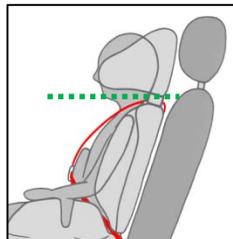
肩パッドの高さはヘッドサポート背面のベルトの位置で決まっています。高さ調節の際には、肩パッドだけを持って引っ張らないでください。

各部の機能と使い方

背部

重要

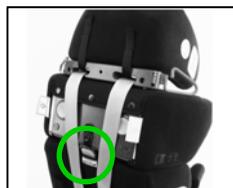
背もたれの上下によって肩ベルトの高さも変わります。
肩ベルトの高さは、必ずお子様の肩位置の水平ラインと
同じか、それよりも高い位置でご使用ください。



背もたれの高さ調整

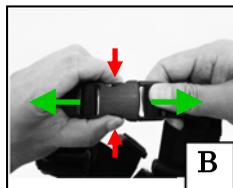
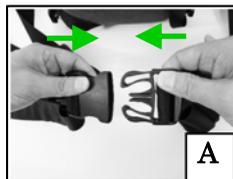
背もたれの背面にある、背高さ調整ベルトを引くことで背
のロックが外れ、高さを調整することができるようになりま
す。

背もたれを上下させ、お子様に合った背もたれの高さを
選択してください。



4点式ハーネスのバックルの着脱

1. 装着時は左右の手でバックルを持ち、差し込みま
す。必ずカチッという音がするのを確認してください
(図 A)。
2. 外すときはバックル本体の横にあるリリースボタンを
押しながら(つまんだまま)、左右に引きます(図 B)。

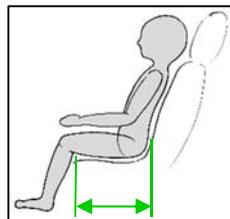


各部の機能と使い方

座部

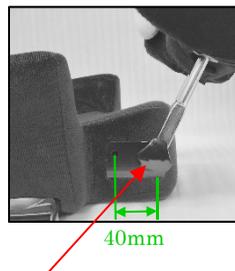
重要

シートの座面の長さは、利用者の骨盤の後ろからひざの内側までの長さよりも若干短く設定してください。



座面の奥行き調整

座面の奥行きは、標準で 420mm にセットされています。奥行きを浅くしたい場合は、「座面奥行き調整ノブ」の取り付け位置を前方に変更することで、40mm 浅い 380mm を選択することができます。



座面奥行き調整ノブ

重要

調整が必要な場合は、必ず販売店へご相談ください。

各部の機能と使い方

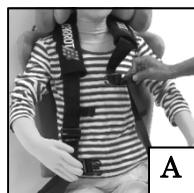
警告！

肩ベルトの長さ調節を行う際は、軽い力で強く締まるので、強く締めすぎて肩や胸を圧迫しないように注意してください。

4点式ハーネスの着脱

- 1 調整は腰ベルト→肩ベルトの順で行います。
- 2 最初に肩ベルトを十分に緩めておきます(図 A)。
- 3 次に、腰ベルトをねじれない様に注意しながら骨盤のなるべく下側を通し、両側の調節部でしっかり締め付けます(図 B)。この時腰ベルトのパッドが、骨盤をしっかりと押さえるような位置になるよう調整してください)
- 4 左右の肩ベルトをつなぐチェストバックルを留めた後(図 C)、肩ベルトを締めこみます(図 D)。

アジャスターは軽い力で強く締まるので、締めた後にベルトの下に手を差し込み、肩や胸を圧迫しすぎていないか毎回確認してください。



各部の機能と使い方

オプション

XL 用サポートテーブル

Optional Accessory

上肢を支えることで姿勢が安定する場合に使用します。



三角マット

Optional Accessory

姿勢を安定させるために、座面の前方を高くする場合に使用します。



背延長パッド 100mm

Optional Accessory

背もたれを高く調整した時に、空いた隙間を埋めるために使用します。XL シートでは背延長パッド 50mmと組み合わせて使用することが可能です。



3D 体幹パッド

Optional Accessory

体の形状に沿う立体的な体幹パッドです。固定はマジックテープ式なので、自由な位置に取り付けることができます。

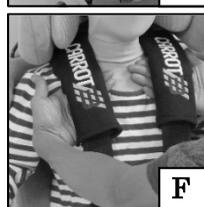
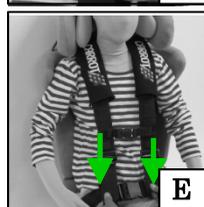
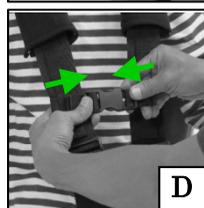
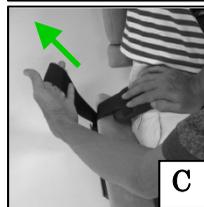
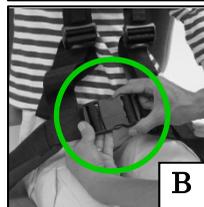


座らせ方と注意点

座らせ方

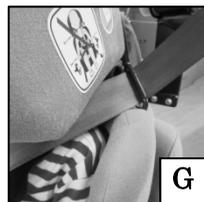
車両シートへの取り付けが完了したら、ユーザーを以下の手順で座らせてください。

- 1 4点式ハーネスの全てのバックルを外し、全てのアジャスターを充分緩めたうえで、ユーザーを座らせます(図 A)。
- 2 ねじれに注意しながら4点式ハーネスを装着します。
- 3 腰ベルトのバックルをロックします。カチッという音でバックルがきちんと嵌ったことを確認してください(図 B)。
- 4 骨盤を抑えるように骨盤パッドの位置を調整します。
- 5 腰ベルトをしっかり締めます(図 C)。
- 6 上体をきちんと保持できるように、肩ベルトと肩パッドの位置を調整します。
- 7 チェストバックルをロックします(図 D)。カチッという音でバックルがきちんと嵌ったことを確認してください。
- 8 肩ベルトを適正な強さで締めます(図 E)。
- 9 肩ベルトが締め過ぎて、肩や胸を過度に圧迫していないか、ベルトの下に手を入れて確認してください(図 F)。



座らせ方と注意点

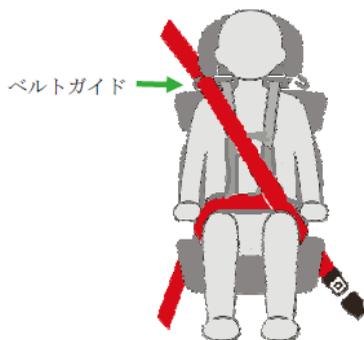
- 10 ハーネスによじれがないか、ユーザーの体が適切に保持されているかを確認します。
- 11 車両側の3点式シートベルトをシートベルトガイドに沿って装着します(図 G)。
- 12 3点式シートベルトに振れや緩みがないかを確認します(図 H)。



警告！ 車両シートベルト併用の義務

この製品を使用の際は、必ず車両側の3点式シートベルトを併用してください。

この製品を車両シートに固定しているベルトや、ユーザーをこの製品に保持するための4点式ハーネスだけでは、衝突時の安全は保障されません。



座らせ方と注意点

重要

- ・ 常に4点式ハーネスの各バックルがきちんと嵌っていることを確認してから、ベルトの調節を行ってください。
- ・ この製品の操作や調整、リクライニングなどを含めた一切の行為は、停車時に安全な場所で行ってください。
- ・ 走行中はなるべく背もたれを起こして使用してください。過度に倒して使用すると、衝突時の安全性が損なわれます。

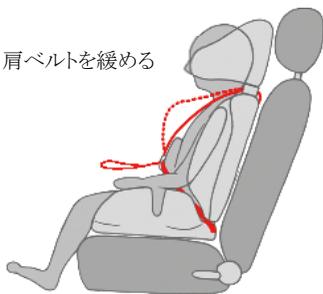


警告！ リクライニング時の注意

背もたれを倒すときは下記の手順により、いったん肩ベルトを緩めた後で背を倒し、再び肩ベルトを締めなおしてください。

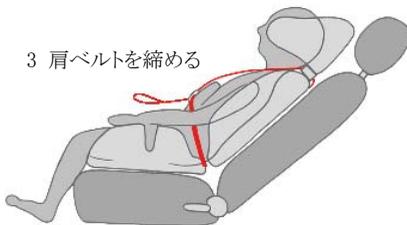
そのまま倒すと肩ベルトが締め過ぎになり危険です。

1 肩ベルトを緩める



2 背もたれを倒す

3 肩ベルトを締める



お手入れの方法

カバーの取り外しは、販売店に依頼してください

カバーの着脱は複雑なうえ、工具が必要です。

一旦部品を外してしまうと、組み立てられなくなります。また、間違った組立て方をすると、本製品が本来の機能を果たさなくなる可能性があります。

カバーの着脱や交換は、必ずご購入の販売店に依頼をしてください。

カバーが汚れた場合

固く絞った布で拭くか、カーシート用の洗剤(布シートクリーナーなど)でお手入れをしてください。

パッド類は中のスポンジを外して、洗濯ネットに入れて洗う事も出来ますが、全ての布には裏側に薄いスポンジが張っており、それが水に触れることにより早く傷んでしまいます。

衛生的に使うためにも定期的な交換をお勧めします。

4 点式ハーネス用バックルのロック音について

もしバックルのロック時に「カチッ!」というロック音がしなくなった場合、確実な固定が出来ていない可能性があります。

そのような場合は、速やかに販売店に点検・修理をご依頼ください。

寸法

全体幅	510mm~560mm
座面奥行き	420mm(380mm)
シート内幅	420mm
背もたれ高さ	745mm~870mm

重量	10.5kg
許容体重	75kg
適用年齢	14才~成人

